

評価問題例

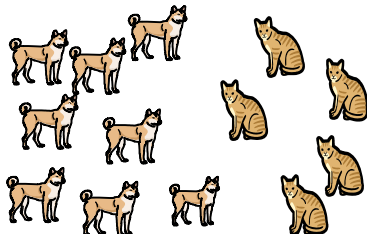
1 かきは 5こ です。くりは なんこ ですか。

(1) ぶろっくを うごかして かんがえてみましょう。
かんがえたことを おはなしに してみましょう。



(2) しきと こたえを かきましょう。

2 いぬが8ひき、ねこが5ひきいます。どちらが
なんびきおおいでしょう。



しき

こたえ

() が () おおい

3 しきが「 $6 - 4$ 」になる
ひきざんのおはなしを
つくってきましょう。

評価問題のポイント

- 1 求部分の場面を理解し、ブロックに置き換えて、操作の説明ができるかどうかを見る問題である。1年生の1学期であることから、文章化して考えを書くことが難しく、口頭で説明させながら、ブロック操作をさせ、その様子を観察して評価する。
- 2 求差の問題で、教科書では「犬の方が何匹多いですか」という問いかけになっているが、多い方を指摘して、かつ何匹多いかを書かせる問題にした。答えの部分で、単位も書かせることも押さえておきたい。
- 3 ひき算の意味を確かにとらえられているかを見るために、ひき算のお話づくりをさせる。求残、求部分、求差のいずれの問題でもよい。例えば、「みんなで6人います。おとこのは4人います」という文に続けて、条件に合わせて問題作成させることも可能である。